

4名の仲間を取り戻そう！

全学連救援ニュースNO.05
2015年10月16日発行

10・21-11・1集会へ

◆戦争のためのデッチあげ弾圧に 怒りの声と署名が続々と！

9月28日、30日に行われた全学連4名に対する「監禁致傷」デッチあげ逮捕に対し、裁判所前や職場・キャンパス・街頭で次々と怒りの声があがっています（弾圧の詳細は裏面）。公安警察がスパイを使って反戦運動を弾圧していたことが暴かれ、4名奪還の署名も次々と寄せられています（現在575筆）。地裁前で通りがかった元福島大の女性が「これは許せない！」とビラまきに合流。飯田橋駅前でも、「スパイなんて許せない！ 職場で署名を集めるから用紙を10枚くれ！」という男性が現れるなど、追い詰められているのは安倍政権と国家権力の側です。

4名が不当逮捕されてすでに2週間が経過しています。14日の勾留理由開示公判でも明らかになったように、4名を勾留する理由は何ひとつありません。裁判所は直ちに4名の勾留を取り消すべきです。

4名の釈放を求める署名にぜひご協力を！ そして弾圧を打ち破って10月21日の国際反戦デー集会への大結集を皆さんに呼びかけます。

◆地裁包囲デモを打ち抜く！

10月14日、公安警察による「監禁致傷事件」デッチあげで不当逮捕された全学連4学生の勾留理由開示公判が東京地裁刑事第14部（中山登裁判長）で行われました。これに先立ち緊急で呼びかけられた正午からの東京地裁包囲デモには、首都圏の学生や労働者を中心に130人が集まり、安倍の意を受けた警視庁公安部の卑劣な弾圧に満身の怒りをたたきつけました（右上写真）。

斎藤郁真全学連委員長がデモ出発前に訴えました。「今回の不当逮捕は、戦争法阻止を訴え国会前を埋め尽くした数十万人の実力闘争、その先頭に立った全学連に



対する安倍政権の弾圧だ。裁かれるべきは卑劣なスパイ化工作をやっていた国家権力の方だ。4人を今すぐ奪還しよう。今秋ストライキをもって国家権力に大反撃しよう！」——斎藤委員長の鮮明なアピールに全員が決意を新たにデモに出発しました。

「戦争のための弾圧やめろ！」 「監禁致傷はデッチ上

すべての仲間の奪還のため
**署名・カンパ
にご協力を！**

奪還署名
現在

575筆！

獄中への差し入れや弁護士接見など、多額の費用がかかります。ぜひとも、圧倒的な救援カンパを寄せてください！

【郵便振替】00190-0-766112

「全日本学生自治会総連合」

全学連

全日本学生自治会総連合（委員長・斎藤郁真）

03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

げ!」「公安警察解体!」「ストライキで戦争とめよう!」
——ラップ調のコールを霞が関の街路に響かせながら、全
学連を先頭に元気なデモが打ち抜かれました。

◆不当逮捕された4学生が元気に出廷

午後2時から勾留理由開示公判が行われました。完全黙
秘・非転向を貫いて闘う4学生が法廷に元気な姿を見せる
と、傍聴席から大きな拍手と歓声が巻き起こりました。中
山裁判長は冒頭から「傍聴人の発言・拍手等は禁止する!
黙りなさい!」などとわめいたが、そんな制動をものとも
せず、4学生と弁護人と傍聴席の仲間が固く団結して終
始法廷を圧倒しました。

4人は人定質問にも堂々と完全黙秘を貫きました。裁判
長が「4人は共謀して前進社内で樋口正太郎に厳しい追求
をし、脱出を余儀なくさせ、転落させて傷害を負わせ……」
などと公安の主張をうのみにした勾留理由書を読みあげ
ると、法廷は怒りのるつぼと化しました。求釈明で弁護人が
「誰が、いつ、どのように『監禁』とされる行為をしたの
か」と追及すると、中山裁判長は「いずれも証拠の内容・
存否にかかわるので回答できない」「被疑事実に記載の通
りだ」などと逃げ口上をくり返しました。「ふざけるな!」
「ちゃんと答えろ!」傍聴席から一斉に怒号が飛ぶ中、追
い詰められた中山裁判長は顔を引きつらせて退廷命令を連
発。警察・検察と一体化して国家犯罪を擁護する醜悪な正
体をさらけ出しました。

さらに弁護人の意見陳述が裁判官と検察を圧倒しました。
鈴木達夫弁護士は「最大の問題は国家権力によるスパイ行
為だ。戦後の憲法下において初めて、国家権力と人民がス
パイ問題をめぐって激突しているのが今回の事件だ。金銭
でそそのかしてスパイに仕立て上げ、結社の自由を侵害し
てスパイを送り込むなど、断じて許されることではない。
国家犯罪そのものだ!」と突きつけました。

閉廷後、全員でシュプレヒコールをあげ、4学生即時奪
還へ闘い抜く決意をうち固めました。

公安のスパイ化工作による 不当逮捕は許せない!

9月28日と30日、警視庁公安部は、全学連の4人の仲間を「監
禁致傷」なるデッチあげ容疑で逮捕しました。この不当逮捕は、
安保法制反対の国会闘争を労働者人民の先頭で闘ってきた全学
連への弾圧であり、反戦闘争への弾圧です。

そもそも、「被害者」とされる元福島大生・樋口正太郎は、約
3年にわたって全学連にスパイとして潜り込み、そこで得た情
報を公安警察に提供し、その見返りに数十万～数百万円規模の
金銭を受け取り、酒食・享楽に換えていた男です。スパイ行為
が発覚し、逃亡して怪我を負ったことを逆恨みし、公安警察と
一体となって今回のデッチあげに加担しているのです。4人の仲
間を今すぐ取り戻そう!

◆朝鮮侵略戦争をストライキで止めよう 4名を取り戻し、10・21-11・1へ!

フランスやロシアのシリア空爆参戦が示すように、大恐
慌の本格的爆発は、危機に立つ帝国主義・大国間の争闘戦
を急速に戦争へと転化しています。とりわけ、米韓の作戦
計画「5015」策定と安倍政権の安保法採決は、朝鮮侵略戦争
の危機を切迫させています。学生運動への弾圧も、問答無
用の辺野古新基地建設も、8月の米軍ヘリ墜落で明らかにな
った日米共同演習も、すべて朝鮮侵略戦争へのめり込
む安倍政権の姿そのものです。

米日韓による朝鮮侵略戦争は、北朝鮮の体制転覆と同時
に、パククネ政権打倒のゼネストを闘う韓国・民主労総の
闘いの鎮圧を狙うものです。

しかし、戦争の危機は同時に、労働者民衆の国境をこえ
た闘いと団結をも生み出しています。安倍政権に対する歴
史的な安保国会闘争の高揚と一体で、民主労総は9月23日、
第3波ゼネストに決起し、54人の不当逮捕を出しながら、
11・14全民衆総決起大会に向かって進撃しています。

民主労総の闘いと連帯し、ゼネストで辺野古新基地建設
一朝朝鮮侵略戦争を阻止しよう! 4名の仲間を取り戻し、
10・21国際反戦デー闘争-11・1労働者総決起集会へ!

【当面する行動方針】

○10.21国際反戦デー闘争

10月21日(水) 法政大学デモ 法政大学・市ヶ谷キャンパス/12時半集合、13時半デモ出発
渋谷大街宣 渋谷駅・ハチ公前広場/16時～
渋谷デモ 代々木公園・ケヤキ並木通り/18時半集合

○11.1全国労働者総決起集会

11月1日(日) 正午～ 日比谷野外音楽堂
よびかけ: 全日建運輸連帯労働組合関西地区生コン支部/全国金属機械労働組合港合同/国鉄千葉動力車労働組合
/国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

